

第17回東京ラビッツ秋季陸上競技選手権大会

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は、2026年度(公財)日本陸上競技連盟規則及び本競技注意事項により実施する。

2. プログラムについて

- ① 当日競技者受付にてプログラムを配布する。
- ② プログラムに記載ミス(氏名、フリガナ、学年、所属等)があった場合は、8時45分または遅くとも出場する競技の90分前までに大会本部に申し出ること。記録確定以後の訂正(記録証の訂正を含む)には、一切応じない。尚、プログラムの記載事項は、申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。
- ③ プログラムは、残部がある場合に限り販売する。(1部500円)

3. 招集について

- ① 招集所は、100mスタート地点付近(A ゲート付近)に設ける。
- ② 招集開始、完了時刻は、プログラム記載の競技開始時刻を基準として以下の通り。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	40分前	30分前
跳躍競技	60分前	50分前
投てき競技	40分前	30分前

- ③ 招集開始時刻から招集完了時刻の間に競技者本人(代理人による招集は認めない)が招集所に来ること。この招集時に競技者はアスリートビブスを付けたユニフォームを着用し、集合のこと。招集終了後、競技者は各自でスタート地点または競技場所へ移動のこと。
- ④ リレー競技に出場するチームは、オーダー用紙を招集所で受け取り、招集完了時刻の60分前までに提出のこと。

4. アスリートビブス(ナンバーカード)等について

- ① アスリートビブスは主催者が用意する。胸と背中に2枚着用のこと。跳躍競技者は胸または背中のどちらか一方でもかまわない。
- ② トラック競技に出場する競技者は、写真判定用のサイドビブス(粘着シールタイプ)を招集所で配布するので、パンツの右側の上部、やや後ろに付けること。アスリートビブスともに返却の必要はない。

5. 競技について

- ① 競技場は全天候舗装である。スパイクについては競技規則 TR5.2 を参照のこと。なお、靴底の厚さは、競技用靴に関する主要規則に準じること。使用された靴に関して審判長が疑義を抱いた場合、競技終了後、使用した靴の提出を求めることがある。
- ② 不正スタートは1回目以降の者に対してすべて失格する。スタートの発声は英語で行う。なお、規則 TR16.5.1～3の不適切行為は注意にとどめる。ただし、繰り返し行う場合は、イエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とする。
- ③ レーンを使用する競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン(曲

走路)を走ること。

- ④ リレーのスタート用マークは各チームで用意し、レース終了後も必ず各チームで外すこと。
- ⑤ 競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。
- ⑥ 走高跳の最初のバーの高さは、出場する競技者との協議によりフィールド審判長が決定する。
- ⑦ 砲丸の重さは以下の通り。
一般男子 7.260 kg、高校男子 6.000 kg、中学男子 5.000 kg、中学女子 2.721 kg

6. ウォーミングアップについて

- ① ウォーミングアップ場(バックストレート)は競技者のみの入場で、付き添い、指導者、引率者などは入ることはできない。競技者に指示する場合は、バックスタンドから行うこと。
- ② 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。なお、周回レースが行われていない時間帯については、バックストレートを開放する。

7. その他

- ① 本競技会は、「第6回港区陸上競技大会」と同時開催となるので、御理解願います。
- ② 競技中の事故については、主催者で応急処置はするが以後の責任は負いません。
- ③ 盗難防止のため、貴重品は各自で保管し、また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意のこと。
- ④ 競技中の助言・指導はスタンドからのみ行うことができる。
- ⑤ ゴミは必ず自宅まで持ち帰ること。(競技場及びその周辺、駅などに捨てていかないこと。)
- ⑥ 記録証は1部300円で発行する。希望者は当日16:00までに大会本部まで申し出ること。
- ⑦ その他不明点などあった場合は、大会本部へ照会のこと。